

～沿線地域の産業や生活の支援に寄与！～  
国道357号東京湾岸道路（根岸地区）の  
開通後の整備効果をお知らせします！



国道357号東京湾岸道路の根岸地区（本牧市民公園前～磯子駅東口交差点）について、内陸部の交通混雑の緩和や湾岸地域の都市・施設等の機能効率化を目的とした当該区間が開通してからの整備効果をお知らせします。

◆整備内容：延長 約3.0km（全線4車線）

◆開通日：平成26年3月31日（月）

〈周辺道路の混雑が緩和〉

- ・開通区間に並行する（主）山下本牧磯子線〈本牧通〉の交通量は、約38,100台/日から約23,800台/日に約4割減少し、八幡橋交差点の渋滞が解消しました。

〈貨物車交通の転換〉

- ・（主）山下本牧磯子線〈本牧通〉を通行していた貨物車のうち約7割が転換し、国道357号東京湾岸道路（根岸地区）を利用するようになりました。

〈産業の支援〉

- ・沿線の企業においては、開通により輸送時間の短縮や輸送経費削減など**輸送の効率化**に貢献していると実感した等の声を頂いています。



発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ  
横浜市政記者会 横浜テレビ・ラジオ記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所

電話 045-311-2981（代表）

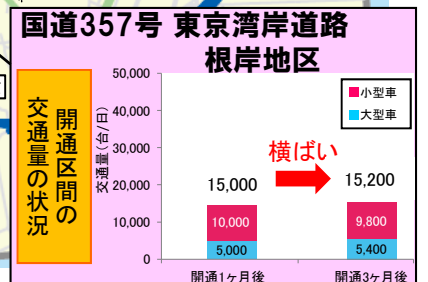
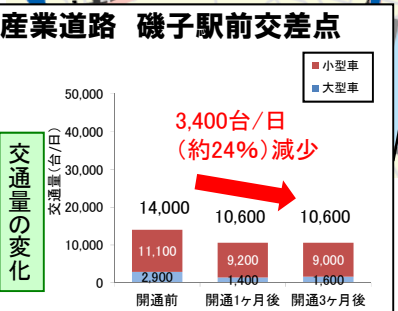
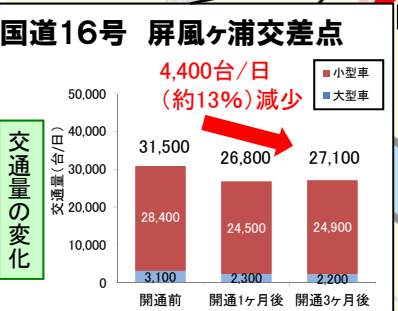
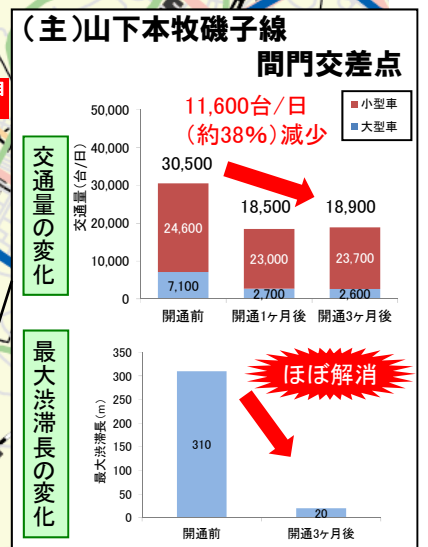
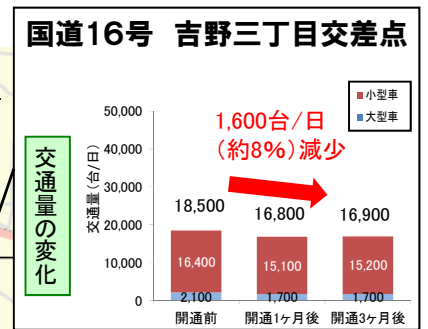
副所長 さとう しげたか  
佐藤 重孝

調査課長 ふしひら ただはる  
藤平 忠晴

# 整備効果① 交通の円滑化

## 開通区間に並行する国道16号や(主)山下本牧磯子線<本牧通>の交通量が減少し、渋滞が解消！

- 国道357号東京湾岸道路(根岸地区)の開通3か月後の交通量は約15,200台/日です。
- 当地域の幹線道路である国道16号、(主)山下本牧磯子線<本牧通>等では、開通前に比べて、大幅に交通量が減少し、渋滞も解消しています。



■調査日  
 ・開通前 平成25年11月19日7時～平成25年11月20日7時(24時間)  
 ・開通後3ヶ月 平成26年7月30日7時～平成26年7月31日7時(24時間)

# 整備効果① 交通の円滑化

## 大型車の交通が国道16号から開通区間へ転換！

- 開通後、(主)山下本牧磯子線<本牧通>八幡橋交差点を通過する大型車が約5,000台減少し、開通区間を約5,400台の大型車が利用しています。
- 開通区間を利用する物流企業からは、開通区間の利用により朝夕のラッシュ時の通行が楽になったとの声を頂いています。

### 物流企業の声



本牧埠頭から横浜市金沢区へ海上コンテナを輸送する際、国道357号から本牧通や国道16号を経由していた。開通区間を利用することにより、渋滞していた八幡橋交差点や間門交差点を bypass して済むので朝・夕のラッシュ時の通行が楽になった。

出典：周辺事業者・関連団体等ヒアリング調査  
(平成26年6～7月実施)



「開通区間」を通過するコンテナ車両

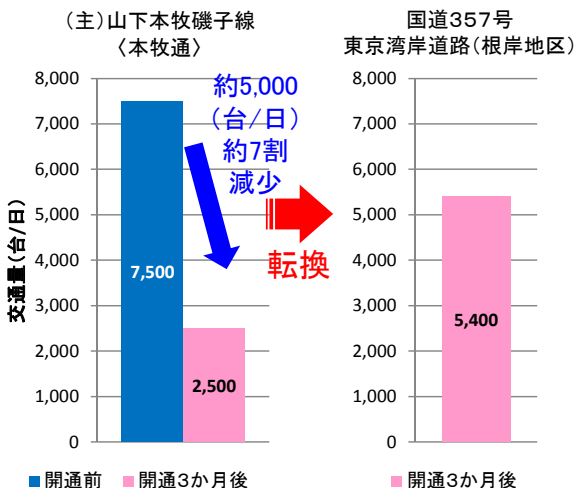
### ■並行する(主)山下本牧磯子線<本牧通>から開通区間への大型車の転換



開通後、(主)山下本牧磯子線<本牧通>八幡橋交差点を通過する大型車が約5,000台減少し、開通区間を約5,400台の大型車が利用。



### 開通前後の(主)山下本牧磯子線<本牧通>・開通区間の大型車交通量の変化



■調査日  
 ・開通前 平成25年11月19日7時～平成25年11月20日7時 (24時間)  
 ・開通後3ヶ月 平成26年7月30日7時～平成26年7月31日7時 (24時間)

